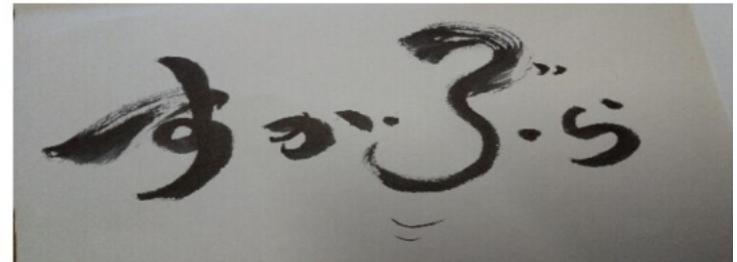


心が疲れても、疲れる前でも

ボランティア部をボランティア！？
していたころの天地成行。すべてはここから



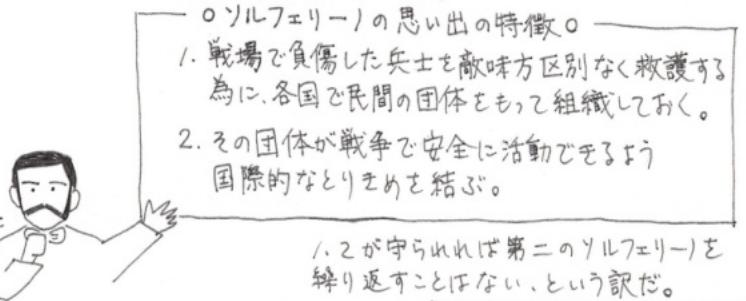
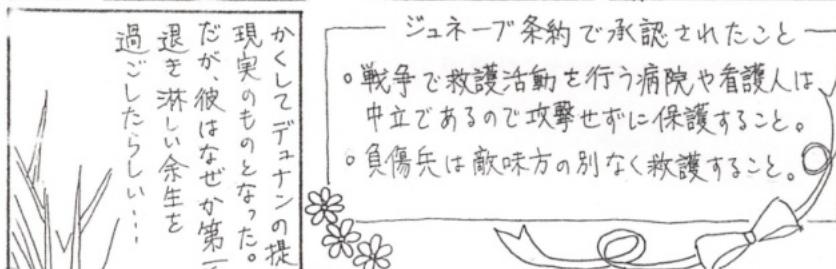
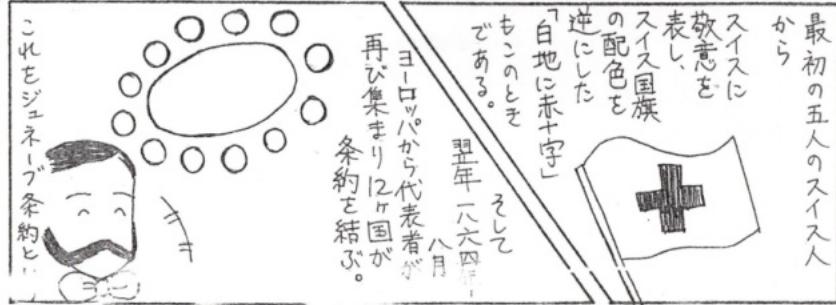
第一号のラインアップ 特集「編集長・天地成行」

「ゆるいつながり論」 || 國學院大・松本貴文准教授
大学生がみた天地成行 | 二〇一二年の講演から

うれしひずかし自由律俳句

マンガ、イラスト、写真など





この漫画は天野成行が高校時代に姉が描いたもの。日本赤十字社でも復元される予定です。

オーブニングセレモニー・天地成行あり
(チュンチュン)
天地成行B..あつ、
スズメが楽しそう。
(ホー・ホケキヨ)
天地成行A..おつ、
こちらはウグイス。
楽しい春だなあ。我々
もコロナが大体落ち
着いて、任務を果た
したようですね。
いよいよ星に帰る
ときですか？

天地成行A、B..
「すかぶら？」
天地成行C..昔、炭
鉱ではろくに仕事を
せずに、周りの労働
者を「スカッ」と笑
わせる「ブラブラ」
していた職種があつ
たそだ。しかし、
天地成行C..ばかた
れー、からの焼鳥の
たれー。最近の地震

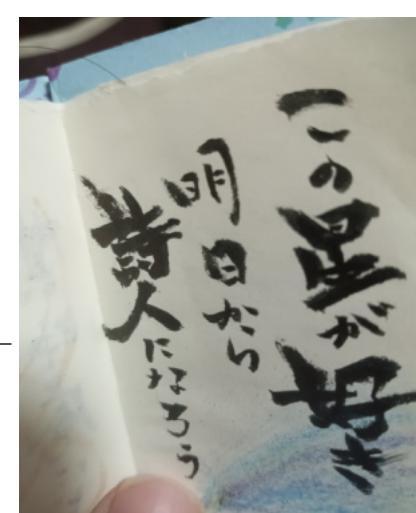
合理化で真っ先にな
くなつた。だが、作
業効率はものすごく
落ちたそうな。見た
目や数字に惑わされ
るな。世の中に求め
られる「ヘンテコな、
モイスチャーディー
プな」世界を今ここ
に編むことが、天地
成行の使命である。

天地成行C..とはい
つづ、真面目にや
らない。楽しんでふ
ざけながら、こんな
息抜きもあるんだね
』という形を提供で
きれば大成功。失敗
してもなんのその。
なりゆきに任せ世の
中の潤滑油になろう。

方委員会
ニー・天地成行あり
（チュンチュン）
天地成行B..あつ、
スズメが楽しそう。
(ホー・ホケキヨ)
天地成行A..おつ、
こちらはウグイス。
楽しい春だなあ。我々
もコロナが大体落ち
着いて、任務を果た
したようですね。

オーブニングセレモニー・天地成行あり
(チュンチュン)
天地成行B..あつ、
スズメが楽しそう。
(ホー・ホケキヨ)
天地成行A..おつ、
こちらはウグイス。

に、すでに真夏日が
来て、自然が悲鳴を
あげているではない
か！ 地球防衛軍とし
ての役割はとどまら
んぜ。というわけで、
「みんづど」をステッ
プに今度は「すかぶ
ら」を発行するでよ。



みんづど
編集部の
ミッショ
ンである。

天地成行
A、B..
ついてい
きます！

師匠・河村正浩さんと紹いた定型俳句一年目を歌に 「三月、上トノハ、 鳴きつこ」



自然を愛する感激の日々を「セラピー」に



時に吟行、時に自由律
四季折々に添削
読んでみて

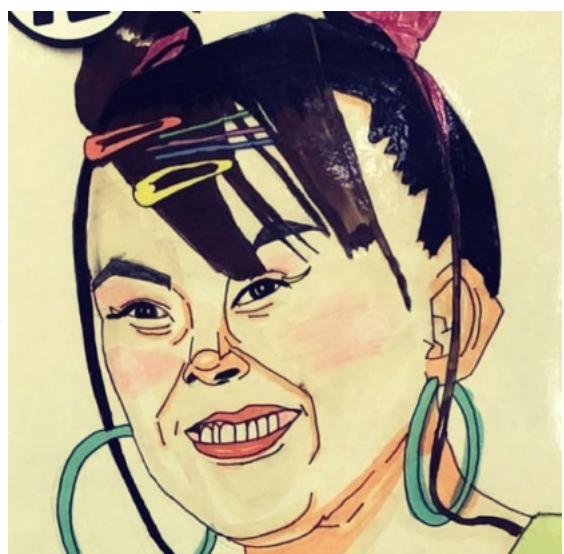
山口県立大学名誉教授の安瀬遊地さんのブログ上で掲載
ネット検索で「安瀬遊地」。ブログサイト内で「天地成行」

特集

「ゆるいつながり論」——『コロトトノウ、コ俳句「ごつこ』の解説にかえて

天地さんからメールが届き、新著の解説を依頼される。俳句に関する本とのこと。どうしたものか悩む。私は文学部の出身（一応、大学院科だった）、文学修士を持っている）とはい、専門は社会学。学部の時に履修した日本文学の授

業も、途中で出席するのをやめてしまつたほどの文学音痴（今でも小説はもっぱら探偵小説と決めている）。そんな次第で、まともな解説が書けるのか、不安しかない。とはい、天地さんは「みんづ」創刊の頃からのご縁である（やりとりはいつもネット上だけれど）。引き受けないわけにはいかないというのが、人情であろう。



徳永雄介作「ワワちゃん」

「ゆるいつながり」という言葉は、それ自体が極めてゆるい概念である。ざっくりといつてしまえば、合う頻度はそれほどでもない、生活上重要な利害関係を共有していない、そのような人との関係のことである（学術論文ではないので、多少のゆるさには目をつぶつていただきたい）。

本書には、河村先生だけでなく、天地さんが俳句を通して成しなかつただろう。

だろうか。

出会った人たちの名がたくさん登場する。そして、こうした人たちとのつながりなどである（学術論文ではないので、多少のゆるさには目をつぶつていただきたい）。

天地さんの俳句を通して成長もまた然りである。天地さんは、何んの人と出会い、そこのやり取りから俳句を通じてたくさんの人と出会い、その成長を経て天地さんは、

そのような直感を支えるのは、天地さんと河村先生のやり取りである。句の内容について、河村先生の添削は率直で、そこだけ見れば少し厳しいようにも感じられるかもしれない（一教員として、学生のレポートなどは、まず良いところを指摘してから批判をする）。しかし、「わたしは山頭火！？」の出版に際してのエピソードなどを読むと、先生の優しさに

本書は俳句の本であると同時に、天地さんとその俳句の師である河村正浩さんとの、出会いから今日までの交流を描いた本である。「人ととのつながり」は、まさに社会学の対象そのものである。そこに焦点をあてれば、何か書けるのではないか。そうした思い付きから、今回のお話を引き受けることにした。以下、私自身が最近関心をもつている「ゆるいつながり」の大切さという観点から、本書の

面白さに迫ってみたいと思う。

天地さんの俳句との出会いは、「病気」と深く関係している。そして天地さんは俳句にセラピー効果を見出している。なぜ、俳句によって「ココロ」が「トトノウ」のだろう。この分野について素人でしかいない私には、勝手な想像を巡らせることしかできないが、一身が最近関心をもつていて「ゆるいつながり」の大切さという観点から、本書の通して、人との「ゆるいつながり」が生まれるからではない

心打たれる。そのことを意識して添削を読みかえすと、そのまま直さが、河村先生が俳句を学ぶものとして天地さんを認めていることの表れのようと思えてくる（あくまで私の主観）



夕カさん撮影

特集 天地成行、某大学で講演・学生からの感想

ここからは、二〇二

二年六月某大学で、天地成行が二回生向

けに「精神保健福祉の原理」という授業

での学生さんの感想

を三人ほど紹介することにする。参加

者は二十六人であつた。ここで天地は、「精神障害をポジティブにとらえる」とい

うメニューテーマで六



金光光雄作「梅沢富美男」

A
十分、質疑応答で三十分ほどを使い学生たちと交流を深めた。
◇ ◇
以下、学生さん感想である。

まず、私自身は今ま

で統合失調症の人と対面したことがなかつたため、授業で得た知識を持ちつつも、統合失調症の人と会うことには少し不安を感じていた。しかし、実態に天地さんと会つてみて非常に明るい印象を受け、統

合失調症の人に対するイメージが大きく変わった。勿論、天地さん自身が講演をするまでの過程で多くの不安を抱えながらも、統合失調症を理解してほしいという思いで過去の出来事などを勇気を出して話してくださっているということを理解した上で、私自身も統合失調症と共に生きる人について正しく理解したいという思いが強かった。今回の講演では、天地さんの精神障害に対する捉え方が特に印象

的な思い込み）。このような人とのつながりや認め合いのながりや感じるのである。（「カネ」は会社で稼いだって良い）。そして。天地さんはからの「地域づくり」にとつて必要なものの一つは「ゆるいつながり」作りだと考えている。もちろん、「そんなものしかわりのないこと語りすぎたのかもしきれない。本論（「論」というほどものでは全くないが）を締めくるにあたり、さらに横道にそれることを覚悟のうえで、「ゆるいつながり」と「地域

生活に欠けているのは「カネ」だけではないだろう。むしろ、「ココロトトノウ」かし、今、私たちの生活に欠けているのは、「カネ」だけではないだろう。むしろ、「ココロトトノウ」

松本貴文（國學院大學観光まちづくり学部観光まちづくり学科准教授）

ような「つながり」の「場」が求められたい。私自身、農村の地域社会を研究しているのだが、これからのがりや認め合いのながりや感じるのである。本書の魅力一つは、俳句を通してこの様なつながりの意味を浮かび上がらせている所にあるのではないか。

天地成行著「わたしは山頭火！？」を読む海辺のオカピー



実態である。そこで、精神保健福祉士がそのような人々の信頼できる存在となって、彼らが地域社会で再び健やかな生活が送れるよう支援していくことが

B
大切なことだと考える。

日によつて体調が良かつたり悪かつたりするらしいので、入念な準備が必要だつたかもしない。今回天地さんが大学に来られたのは、体調面で幸運にも良かつ

シヤーにとても弱い。
なかでもテストの日は
最悪であり、朝から吐
き気や過呼吸氣味にな
ることが多い。大学入
試センター試験でも過
呼吸になつたことがあ

体調が良かつたりするら
入念な準備
たかもしれ
回天地さんが
られたのは、
運にも良かつ
たのか、そ
れとも大事
な日のため
に、体調を
整える秘訣
があるのか
を聞けばよ
かつたと少
し後悔して
いる。私は
統合失調症
ではないの
だが、プレッ

シヤーにとても弱い。なかでもテストの日は最悪であり、朝から吐き気や過呼吸気味になることが多い。大学入試センター試験でも過呼吸になつたことがあり、別室受験を経験した。

統合失調症の人であつても同じ人間であるので、大事な日の体調の整え方やメンタルの支え方から何かヒントをもらえたかもしれない。もつとも統合失調症の場合には薬である程度症状を抑える場合があるので、統合失調症でない人にとってどれくら

に残った。天地さん自身は、統合失調症と診断された当初は現実を受け入れることができなかつたが、精神障害をポジティブに捉えるようになつたことで自身を段々と受け入れることができるようになつた。

「本当に人間関係がで
たとおつしやつていた。
私自身、そのエピソードを聴くまでは、精神障害をポジティブに捉えるという発想がなかつたし、どうしてもネガティブな捉え方をしてしまつっていた。しかし、

きる」「人に優しくな
れる」「慎ましやかに
生きることができる」
など、捉え方によつて
は精神障害は人として
あるべき姿になれるチャ
ンスを与えてくれてく
ると考えることもでき、
ポジティブに捉えるこ
との大きさを実感した。
実際、本当の人間関係
ができるまでの過程は
統合失調症に偏見を持
つ人を切り捨てていく
悲しい作業であるかも
しれないが、仮に家族
や職場の人や友人など
と疎遠になつてしまつ
ても、自身を心から理
解してくれる人が一人

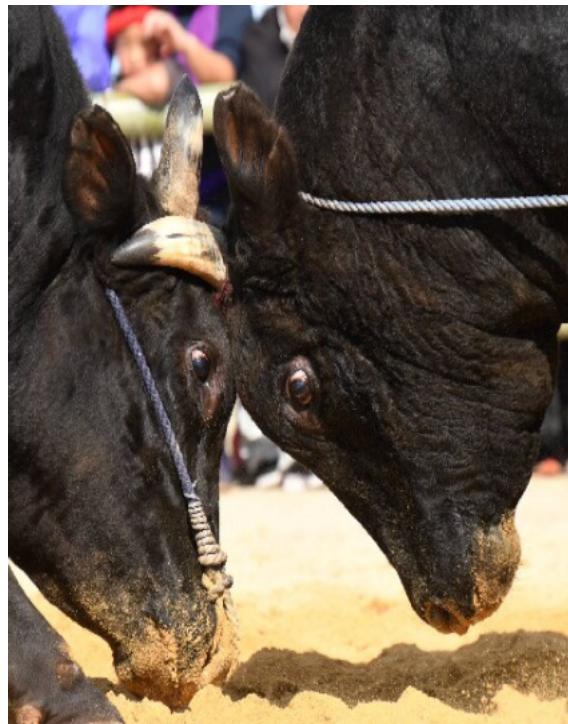
でもいることは非常に大切なことであると考
える。一方で、天地さんは家族が信頼できる
関係性の一つであると
おつしやっていたが、
家族に突き放される形
で病院に入院させられ
てしまつたり、長期の
入院生活で希望を失つ
てしまつている人はそ
のような本当の人間関
係を作ることができる
のだろうかと考えた。
天地さんのように通院
しながら地域社会で生
活している人だけでは
なく、病院に長期入院
している人々が未だに
多く存在しているのが



金光光雄作「手塚治虫」

すると、一羽のクロアゲハが近づいて頭上を旋回し、神社がある森へ。

おばちゃんに「ありつけの『キヤメル』をおくれ」とジョークをかまし、自販機の前に座りタバコを吹かす。



タ力さん撮影

先に来る電車に乗るか。岩国行き。力ネがないので光で降りた。バスが来ていた。室積行き。室積下車。呉服屋のガラスに、書道展が開催中とあり、おばちゃんに、きいて向かう。山頭火の句を七人で書かれていた展示会で主催者と話が弾む。河村正浩先生、富永鳩山先生を師匠にもちあらためて心強さを感じる。そうだ、海辺のオカピーに久しぶりに会いに行こう。

五月月中旬。朝タバコを買いに行く。坂道を登る巨体の額には玉の汗。ゼエゼエハアハアぜえはあはあ。

なりゆき散歩・光編

「揚羽蝶頭上旋回おまじない」などと一句浮かび、家に帰るのをやめ、クロアゲハが去った方向の道へ歩みだす。のっしお。

バス停にてた。一番先に来た方に乗るか。下松行きがきた。乗り込む。駅につく。

先に来る電車に乗るか。岩国行き。力ネがないので光で降りた。バスが来ていた。室積行き。室積下車。呉服屋のガラスに、書道展が開催中とあり、おばちゃんに、きいて向かう。山頭火の句を七人で書かれていた展示会で主催者と話が弾む。河村正浩先生、富永鳩山先生を師匠にもちあらためて心強さを感じる。そうだ、海辺のオカピーに久しぶりに会いに行こう。

◇うれしはずかし自由俳句コーナー
(写真Kさん提供)
桑田さんの作品

明日は父の命日高卒祝いにもらつた時計

元気です

猫が来てまもなく一

五年、朝のおやつが

楽しみだね

物壊れて買え替えし

たら、これが人生最

楽しみだね

後かなと思う六〇歳

天地改作

父よ あなたにもらつ

た時計は元気です

天地改作

ここからが君の心

の洗濯だ

Kさんの作品



猫ちゃんおやつが楽しみ一つが楽しい替えが必要 今五年

還暦も買い替えを生きる



Kさんの作品

森の静かな始まり
君の手を握りたくなる

久しぶりのオカピー

は「通常運転」だつた。作品づくりを間近で鑑賞。「みんな」も大切にしてくれている。モノクロの自分の作品や金光光雄さんの作品が彼にさらなるインスピレーションを与える、という。

父の前でぺろりと平らげ、安然とさせて場を去る。しかし腹部に走る鈍痛。余力を絞りタクシーに乗り込む。若めの女性ドライバー。母の日近く話を向けると、近年他界されたそこで私の句「ふかふかの布団お母さんの中みたい」「母の枕嗅ぐ」に共鳴されていった。

帰り道は櫛ヶ浜駅で下車。腹が減つては戦はできぬ。もう戦などいらない。NOWARだ。お好み焼き屋で麺ダブルにごはんの、炭水化物祭りを、カウンターの親

いていけない思考になり「逃走疾走症状」。

帰宅となる。

能があるのである。

またこの「すかぶら」では、天地や編集部のみなさんが「スカツとブラ

ブラ」して取材してほしいところを募集。企業など、普通の広告記事みたいにではありませんぞー。まだ一号なのでわかりづらいかもしませんが、我々は楽しんで作っていつて、その普段味わえない

う。「どうして俳句でトトノウ」か。國學院大・松本貴文先生の解説。頭の中のもやもやを封印して五七五の作品にすることで、自分の中で整理されて、筆筒の引き出しにしまい込める。そんな機

◇編集後記

一点説明しておきましょう。「どうして俳句でトトノウ」か。國學院大・松本貴文先生の解説。頭の中のもやもやを封印して五七五の作品にすることで、自分の中で整理されて、筆筒の引き出しにしまい込める。そんな機

まで。

定価：300円

編集部：天城祐、桑田哲郎さん
夕方さん、KTさん

